

決議案第 5 号

警察官の増員を求める意見書について

標記の件につき、別紙のとおり天理市議会会議規則第14条第1項の規定により提出する。

平成21年12月17日提出

天理市議会議員	寺 井 正 則
”	飯 田 和 男
”	佐々岡 典 雅
”	東 田 匡 弘
”	三 橋 保 長
”	加 藤 嘉久次

警察官の増員を求める意見書

国民が安心して暮らせる地域社会は国民生活の向上や経済成長の基盤となるものであり、国民すべての願いである。

地方警察官の定員については、平成13年度から平成19年度にかけて2万4230人を増員した結果、警察官1人当たりの人口は平成12年度の557人から、平成20年度は511人となり、刑法犯認知件数の減少と検挙率の上昇に寄与してきたところである。

しかしながら、無差別殺傷事件などの凶悪犯罪、子どもに不安を与える不審者の多発、悪質商法、多様な手口の振り込め詐欺事件などが依然として発生するなど、国民が安全と安心を実感できる「体感治安」の回復は十分とはいえない状況にある。

また、グローバル化による国外逃亡犯の増加、携帯電話やインターネットの普及による匿名性の高い犯罪の増大など、警察を取り巻く捜査環境は厳しさを増している。

平成19年度の地方警察官の退職者数が過去最高の約1万2100人に達するなど、本格的な大量退職期を迎えている中で、国内の治安維持に的確に対応できる警察活動体制の充実・確保が極めて重要な課題となっている。

よって、国会および政府におかれては、国民生活の安全と平穩を確保するための必要な警察官の増員について、引き続き特段の配慮をされるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年12月17日

天 理 市 議 会